

DATA FILE



六方晶系

名前	ZINCITE (ジンサイト) / 紅亜鉛鉱
化学組成	ZnO
色	オレンジ色、赤褐色
光沢	亜ダイヤモンド光沢
蛍光	ほとんどなし
条痕	オレンジ色
劈開	完全
断面	貝殻状
硬度	4.0-4.5
比重	5.6

こう あ えん こう

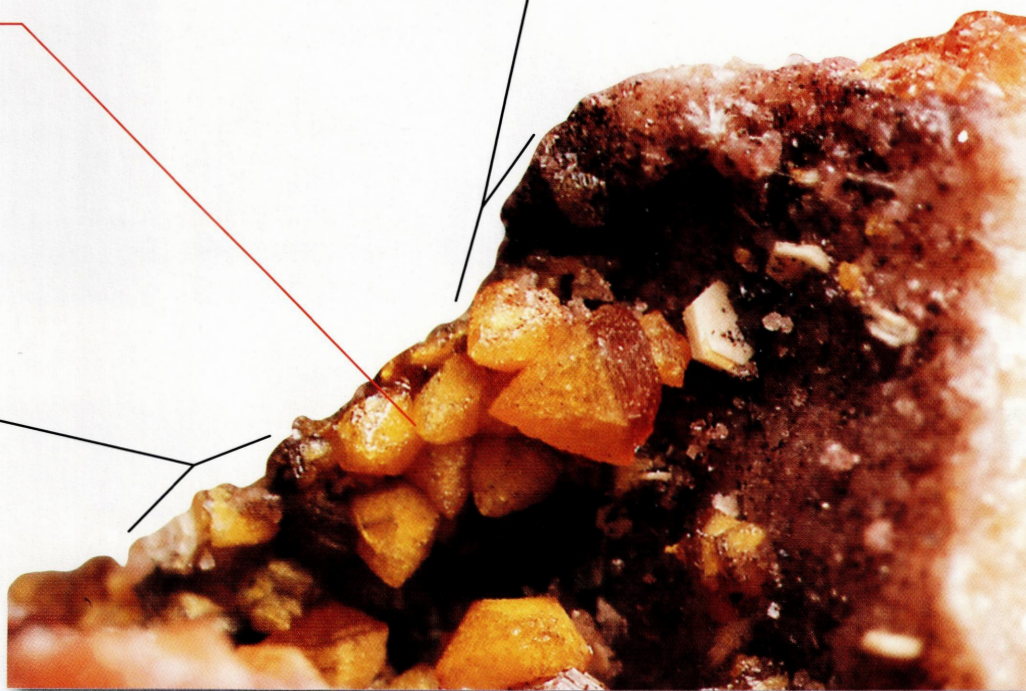
紅亜鉛鉱

ZINCITE

結晶はふつうオレンジ色だが、副成分としてマンガンを含むと赤褐色であられる。

アメリカのニュージャージー州で産出した紅亜鉛鉱の結晶。

ダイヤモンドに近い光沢を持つ。



フランクリン鉄鉱、方解石、閃亜鉛鉱などと共生する。

素焼きの陶板にこすりつけるとオレンジ色の条痕が残る。

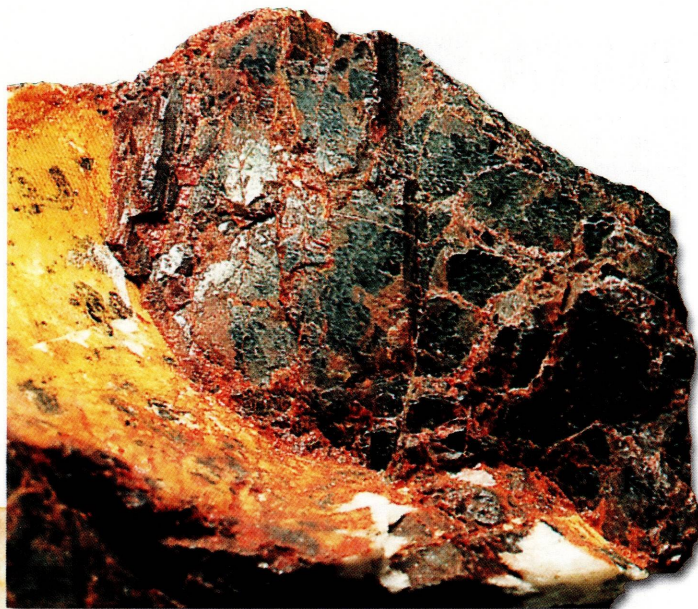
劈開は完全で、ハンマーでたたくと貝殻状の断口を示す。

わずかな産出量

紅亜鉛鉱は亜鉛と酸素から成るシンプルな組成の鉱物で、英名の「ジンサイト」も亜鉛を意味する「ジンク」に接尾語の「アイト」がついた単純なものだ。しかし、産出が稀であるため、亜鉛の原料として産業的に採算がとれる鉱床は少ない。アメリカのニュージャージー州フランクリンにある鉱山では、19世紀に紅亜鉛鉱が大量に採掘された結果、現在は枯渇状態となり、ほかの鉱物の副産物として少量見られるだけになっている。

コ

紅
亜
鉛
鉱



▲塊状であられた紅亜鉛鉱。
アメリカのニュージャージー州産。

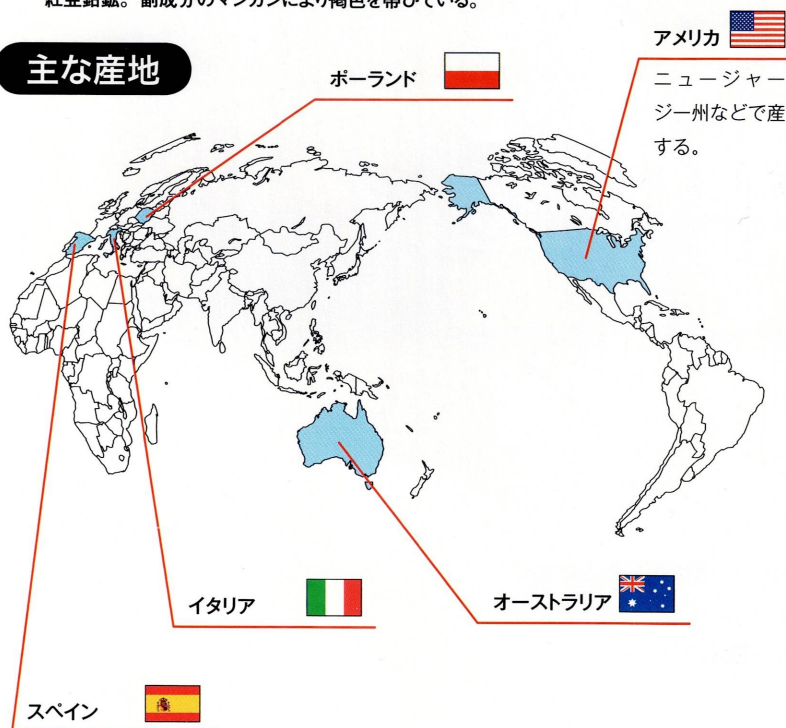
にせもの 偽物に注意

紅亜鉛鉱は硬度4～4.5とやわらかいためアクセサリなどには利用できないが、質の良いものは鑑賞用の宝石に加工される。しかし、天然の結晶といわれる宝石のなかには、実際は溶鉱炉で亜鉛鉱石と塊状の紅亜鉛鉱を溶かして再結晶させた人工的なものも多く存在するので注意が必要だ。



▲白色の方解石と灰色のフランクリン鉄鉱をともなって産出した紅亜鉛鉱。副成分のマンガンにより褐色を帯びている。

主な産地



▼オレンジ色の紅亜鉛鉱の結晶。

